

『大したこと』 作：ポチ子

『大したこと』 作：ポチ子

生きるって、

実は大したことない。

息を吸って、吐けば、

それでいいんだから。

意味とか、

使命とか、

そんなんを勝手に作って、

自分の首を絞めているだけ。

息が出来ないなんて、

手を首に当てたまま言う。

とりあえず手を離せば？

なんて言えば、

自分の首を絞めているのは他の人だって、

真剣に言うんだ。

気付いたら酸欠になって、

倒れて起き上がれなくなって。

そんな自分の横を通り過ぎる、

助けてくれない他人を責める。

首には、自分の手形だけ。